

令和2年度第3回三次市男女共同参画審議会 会議要旨

1. 日 時 令和3年2月17日(水) 14:00～15:00
2. 会 場 三次市役所本館3階会議室
3. 出席者 会 長 村田 和賀代
副会長 八谷 尚幸
委 員 富野井 利弘
委 員 岸本 裕子
委 員 高下 亮子
委 員 石橋 太詞
委 員 貞近 景子
委 員 中菊 圭子
委 員 竹中 典彦
委 員 西川 正治
委 員 林 敬子
委 員 堀川 亮
欠席者 委 員 宮地 順子
委 員 大庭 直美
事務局 三次市地域振興部 部長
三次市定住対策・暮らし支援課 課長
三次市定住対策・暮らし支援課共生社会推進係 係長
三次市定住対策・暮らし支援課共生社会推進係 主査
委託業者 株式会社エブリプラン
4. 議 事 (1) 三次市男女共同参画基本計画(第4次)(案)について
5. 配布資料 ○三次市男女共同参画審議会委員一覧
○「三次市男女共同参画基本計画(第4次)(案)」に係るパブリック・コメントの結果について
○三次市男女共同参画基本計画(第4次)(案)の主な修正箇所
○三次市男女共同参画基本計画(第4次)(案)
6. 会議内容
 - (1) 開 会
 - (2) 副会長の選出
八谷委員の就任
 - (3) 議 事
 - ①三次市男女共同参画基本計画(第4次)(案)について

【事務局説明】

【質疑応答】

副会長： 語句の訂正を確認したい。p 1 後半の広島県の記載の中で「～令和 3 (2021) 年に策定 (予定) した～」や、本計画を「策定 (予定) しました。」とあるが、最終案であるならこれらの記載はどうなるのか。今回は一時的な表現ということで良いか。

事務局： 本日の審議会の時点では予定であるため、このような表現を入れていきます。今後の県の策定状況を見て記載の仕方を変更したいと考えており、最終的には予定を取る形となる見込みです。

委員： p37 の記載で、ハラスメントで 3 つの例が出ているが、これを選んだ理由は何か。最近大きな話題になっているモラルハラスメントは入れないのか。

事務局： 基本的には第 3 次の内容を踏まえています。3 つ以外については最後に「等」を付けており、そこに含んでいるものとしています。

委員： モラルハラスメントは認知度が高いわけではないが、社会通念の中で起こっていることが底辺にあるので、文言として記載があると市民が関心を持つきっかけになるのではないだろうか。

事務局： 社会情勢もあるため、追加させていただきたい。用語解説にも入れていきたいと思えます。

委員： 本計画は 60 頁ほどの分量があり、最初から読んでいくと p27 によりやく本計画の基本目標が出てくる。この辺りが計画の前半に出てくるとわかりやすいのではないだろうか。その方が構成としては、良いのではないだろうか。

事務局： ご意見ありがとうございます。しかしながら、目次を見ていただくと、前半に計画策定の概要、アンケート結果や現計画の評価があり、これらを踏まえての本計画となっています。計画の構成としては、この流れが良いのではないかと考えています。今後、概要版の検討も行うので、概要版ではその点を工夫したいと思えます。

委員： 注釈に性的指向について記載があるが、この内容だけでは不十分ではないか。アセクシャルと呼ばれる概念もある。性的マイノリティについてもこれだけではない。今は LGBT から SOGI の方へ考え方が移っている。三次市はその辺をどう考えているのか。

事務局： 今は LGBT だけでないため、性的マイノリティ (LGBT 等) と「等」を入れて表現をさせていただいています。「LGBT」という概念に当てはまらない人たちを含めた総称として「LGBTQ」等の言葉が使われたり、「SOGI」という新たな概念も出ていますが、三次市としては、「LGBT 等」と表現させていただいています。

委員： LGBT もまだまだ認識が十分ではないが、パブリック・コメントの意見であるように、パートナーシップ制度についても三次市は緊急性がないと動かないのかと見てしまう。積極的に動かないとの市長のコメントだそうだが寂しい。このような姿勢でいいのか。上に立つ人が積極的に進めてほしい。鳥取県は男女共同参画基本計画から「男女」という文言を削除し、性の多様性を示すというのを新聞記事で見た。このように他自治体の後追いでなく積極的に動く必要があるのではないかと。

事務局： 鳥取県の男女にとらわれないという考えは、全国に先駆けています。三次市の場合も今回、副題に入れていますが、性の多様性が重要であるとして市長も認識しているところです。パートナーシップ制度も市長の新聞記事のコメントに補足をすると、「緊急性がない」と消極的であると新聞にはありますが、会見の中では重要なことであると述べています。まずは制度よりも認知度、市民の理解を深める取り組みをしたいと会見で伝えさせていただいているところです。具体的には広島市を中心とした広島広域都市圏の中で、パートナーシップ制度の導入について具体的に取り組んでいくことを共通の課題としています。計画の中には具体的に入れていませんが、他市と情報共有して進めていきたいと考えています。

委員： p39 に計画の推進で、市の中に男女共同参画推進委員会を置いているが、この役割は重いと考えている。にもかかわらずこの会議の開催3回のうち、2回が書面審議となっている。これでは議論にならないのではないかと。リモートなどの方式を活用してでも議論をしないと、活性化しないのではないかと。期待を込めて言わせてもらった。

委員： p34 に「男女が平等であるとあると感じている～」と「あると」が重複している。

事務局： 修正します。

委員： 全体を通して、基本目標が環境づくり、ひとづくり、安心づくりと3つあるが、世界的には環境面でカーボンニュートラルを進められているところであり、コロナウイルスや災害などは計画に入っているの、これも入れた方がいいのかと思うが、どうだろうか。目標達成は、非常に難しい中、洋上風力発電も検討が進んでいるが、本計画の中に入れた方がいいのか、コロナウイルス、災害だけでなく男女一緒にやっついていかないと目標達成ができないのではないかと。ここで入れるべきでは無いかもしれないが。

事務局： 環境の面からの男女共同参画もということですが、直接的には入れていませんが、p27 にSDGs を盛り込んでいます。誰も取り残さないとして、全世界が取組を進めている中で、関係が深いものを何項目か挙げています。SDGs 自体が経済や環境などの大きな目標に則しています。

委員：市の環境基本計画を今年度改訂することになっているが、この中でSDGsを踏まえた目標値が出るのではないか。

会長：委員の意見は、どちらが外か内かということになるが、SDGsが外枠でその中に17の柱があり、その一つに「ジェンダー平等を実現しよう」がある。内と外を逆にするのは難しいので、市としてはSDGsの中の目標の一つである「ジェンダー平等を実現しよう」に関連して男女共同参画を進めていくということではないか。

会長：本日、委員より多くの意見をいただいた、修正も必要なところもあり、それらを計画案に反映させることになる。その後の修正は、会長に一任いただきたい。最終的に、私より市長へ答申したい。

(4) 事務連絡

(5) 閉会